

第 35 回「南山大学英語教員セミナー」概要

開催日時 : 2011 年 8 月 2 日(火)~8 月 4 日(木)、午前 10 時~午後 3 時
開催場所 : 南山大学名古屋キャンパス R 棟内教室
テーマ : Learning techniques and skills to teach English in English
講師 : Hewer, Robert (南山大学外国語学部講師)
日野水 憲 (南山大学外国語学部准教授)
松永 隆 (南山大学外国語学部教授)

第 35 回南山大学教員セミナーにおいては、「日本人の教師が英語の授業を英語で行う」というテーマを取り上げます。英語が学ぶべき教科であることを変えることはできませんが、授業の大半を英語を通して行うことにより、学習者たちに「英語はコミュニケーションの手段であり、実際に使用することによって習得が促進されること」、「自分の英語が相手に伝わった喜び」を実感してもらうことができます。また、教師が英語で授業を行うということは、クラス・マネージメントなども英語となるため、英語を習得するために貴重なインプットを多く提供できる点も大きな利点となります。このセミナーを通して、英語の授業を英語で行うための指導技術、授業への新たな取り組み方に関するヒントを提供したいと思います。

第 1 日目は Hewan, Robert が担当します。日本人の英語教師が英語で授業を進めるためのストラテジー、スキルを、デモンストレーションを行いながら、分かりやすく学んでいただきます。また、授業において学習者に積極的に英語を使わせ、活動がよりインタラクティブなものとなるようにするための工夫やアイデアも提供します。受講者が実際に参加して活動を体験し、スキル習得を目指します。

第 2 日目は日野水 憲が担当し、インターネットを活用した教材と言語活動をテーマとして取り上げます。インターネットのリソースを英語授業で活用するための留意点を提供し、学習者にとって適切なレベルと内容をどのようにして確保するのかを提案します。リーディングやライティングの活動で役に立つ教材を具体的に紹介し、陥りやすいミスなどの具体例も示しながら講座を進めます。

第 3 日目は松永 隆が担当します。テーマは、英語で授業を行うための教材選定と言語活動のデザインとなります。コミュニカティブ・アプローチの原則に基づいた、教材評価の基準を提供し、実際に使用された教材をその基準に照らしてレビューし、教材を編集して教師が意図した学習目的にふさわしい言語活動をデザインするために必要なスキルを伝えます。参加される先生方には実際に使用している英語の教科書を持参していただき、講師といっしょに言語活動の組み立てを学んでいただきます。